日本薬学会

第 9 回全国学生ワークショップ

「医療そして社会への貢献
～私たちで未来を創ろう～」

報告書

2020 年 2 月

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

第９回全国学生ワークショップ参加者

髙倉 喜信　日本薬学会 会頭

第９回全国学生ワークショップの概要

日本薬学会は、平成 23 年（2011 年）に全国の薬系大学・薬学部６年次生による「第１回全国学生ワークショップ」を開催しました。このワークショップは、平成 18 年から始まった６年制薬学教育課程の第１期生が最終学年を迎えることから、学習の主体者である学習者から薬学教育に対するフィードバックを得ることを目的としたもので、「６年制一期生として薬学教育に望むこと」をテーマに開催されました。以降、第２回～第８回までは、下記のようなテーマで毎年開催されてきました。

第２回「６年制薬学教育に望むこと、卒業後に取り組んでいきたいこと」
第３回「医療への貢献、社会への貢献：これから薬剤師としてどのように行動するか」
第４回「私たちが築く新しい医療と社会：将来への思いを共有しよう」
第５回「私たちのプロフェッショナリズム、私たちが築く新しい医療と社会」
第６回「社会が私たちに求めているものは何か？
～未来を支える薬剤師としてのプロフェッショナリズムを考える～」
第７回「医療そして社会への貢献～私たちの未来を語ろう～」
第８回「６年制薬学教育に望むこと、卒業後に取り組んでいきたいこと
～将来への想いを共有しよう～」

開催テーマから分かるように、全国学生ワークショップは、薬学教育に対するフィードバックを得ることだけでなく、「プロフェッショナリズム」や「これから薬剤師としてどのように社会に貢献していくべきなのか？」を議論する場としての役割も果たしてきています。

平成 27 年度から始まった改訂モデルコアカリキュラムによる教育を受けた学生が５年次まで進級してきていることを踏まえ、第９回全国学生ワークショップは平成 18 年度に開始されたモデルコアカリキュラムによる教育を総決算し、次の世代の教育に反映させるために、学生ワークショップの原点に回帰して「学習の主体者である学習者から薬学教育に対するフィードバックを得る」ことを目的に開催することにしました。また、元号も「平成」から「令和」に変わり新しい時代を迎えました。そのため未来の医療や社会を意識しテーマも、「医療そして社会への貢献　～私たちで未来を創ろう～」としました。

今回、参加してくれた学生の皆さんには、ワークショップの冒頭に次のことを伝えました。
（１）６年制薬学教育の PDCA サイクルを回し、より質の高い教育を構築していくためには、学習者の視点からのフィードバックが必要である。
（２）学生ワークショップでは、第１回から一貫して、卒業後の進路に関わらず６年制薬学教育課程を修了した人全員を「ALL 薬剤師」として考えている。
（３）学生ワークショップでは、大学を背負わない個人の考えを自由に述べて欲しい。批判も歓迎するが、できれば建設的な意見に変えて発言して欲しい。

本報告書は、全国から集まってくれた 69 名の学生が２日間真剣に議論し、作成したプロダクトをまとめたものです。参加学生の記念としてだけではなく、各大学における薬学教育の振り返りの一助となれば望外の喜びです。

第９回全国学生ワークショップ
実行委員長　高橋　寛

ページ

第９回全国学生ワークショップの概要　実行委員長　高橋寛　・・・・・・・・　2
目次　・・・・・・・・　3
プログラム　・・・・・・・・　4
ワークショップの参加者および班分け　・・・・・・・・　6
○セッション報告
　第一部「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」　・・・・・・・・　9
　　作業説明　・・・・・・・・　10
　　グループ報告　・・・・・・・・　13

　第二部「医療の未来」
　　セッションⅠ「未来の医療を想像してみよう！」　・・・・・・・・　33
　　作業説明　・・・・・・・・　34
　　グループ報告　・・・・・・・・　36
　　セッションⅡ「これからの薬学に求められること」　・・・・・・・・　58
　　作業説明　・・・・・・・・　59
　　グループ報告　・・・・・・・・　61

○講演１「今、私が取り組んでいること、そして夢」　卒業生３名・・・・・・・・　75

○フリートーク１「予測不可能な時代を生きる人材像について」
　　福島哉史・・・・・・・・　83
○フリートーク２「20 年前の医療を振り返り、現在の延長線には
　　ない 20 年後の医療を想像する」　紀平哲也・・・・・・・・　86

　第三部「医療・社会への貢献　～私たちで未来を創ろう～」
　　セッションⅠ「どんな医療・社会を創っていくのか？」　・・・・・・・・　88
　　作業説明　・・・・・・・・　89
　　グループ報告　・・・・・・・・　91
　　セッションⅡ「どうやって未来を創るのか？」　・・・・・・・・　104
　　作業説明　・・・・・・・・　105
　　グループ報告　・・・・・・・・　107

○講演２「医療人　プロフェッショナリズムとは」　木下牧子　・・・・・・・・　119

　第四部「10 年後の薬剤師について：薬学会会頭、厚労省との情報共有」

○講演３「薬剤師に未来を創る能力はあるのか」　安川孝志　・・・・・・・・　123

参加者印象記　・・・・・・・・　128
卒業生印象記　・・・・・・・・　151
参加者アンケート結果　・・・・・・・・　156
薬剤師として求められる基本的な資質に
　　関するアンケート結果　・・・・・・・・　176

公益社団法人　日本薬学会　薬学教育委員会

第９回全国学生ワークショップ

「医療そして社会への貢献　～私たちで未来を創ろう～」

開催日時：2019 年 8 月 10 日（土）10：15　～　11 日（日）16：00
開催場所：クロス・ウェーブ 府中
（〒183-0044　東京都府中市日鋼町１-40　TEL:042-340-4800）
参加者　：大学 6 年次生 69 名（１チーム 7～8 名・全 9 班）
：学生ワークショップ参加の卒業生 15 名

プログラム（敬称略）

第１日目：8 月 10 日(土)

9:45～　参加者受付（３階ビジネスルーム前）
10：10　配布物の確認
10：15　開会のあいさつ
10：25　ワークショップ開催の経緯
10：40　自己紹介

第一部　「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」

10：55　作業説明（world café）
11：05　「私の大学のここが好き（過去)」
11：25　「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう（現在)」
11：55　「10 年後の活躍している場面をイメージしよう（未来)」

12：25　昼食

第二部　「医療の未来」

セッションⅠ　「未来の医療を想像してみよう！」
13：15　作業説明（KJ 法）
13：25　小グループ討議（模造紙）
14：35　発表（5 分×３班)、合同討論（15 分）

15：05 休憩（コーヒーブレイク）

セッションⅡ　「これからの薬学に求められること」
15：20　作業説明
15：30　小グループ討議
16：50　発表（5 分）＋合同討論（5 分）×３班

17：20　講演１「今、私が取り組んでいること、そして夢」
卒業生　1.北川奈美　2.志田美春　3.志田拓顕

18：05　フリートーク１　福島哉史（文部科学省薬学教育専門官）

18：20　フリートーク２　紀平哲也（医薬品医療機器総合機構（PMDA））

18：40　１日目のアンケート

第２日目：8 月 11 日(日)

第三部：「医療・社会への貢献　～私たちで未来を創ろう～」

セッションⅠ　「どんな医療・社会を創っていくのか？」
8：35　作業説明
8：45　小グループ討議
9：45　発表（5 分）＋合同討論（5 分）×３班

10：15　休憩（コーヒーブレイク）

10：30　講演 2「医療人　プロフェッショナリズムとは」
光風園　副理事長　木下牧子

セッションⅡ「どうやって未来を創るのか？」
11：00　作業説明
11：10　小グループ討議

12：20　昼食

13：10　発表（5 分）＋合同討論（5 分）×３班、グループのまとめ
13：40　発表（2 分）×３班＋全体討論（5 分）

第四部「10 年後の薬剤師について：薬学会会頭、厚労省との情報共有」

13：55　講演 3「薬剤師に未来を創る能力はあるのか」
厚生労働省　医薬・生活衛生局総務課　薬事企画官　安川孝志

14：10　総合討論

15：10　閉会のあいさつ

15：15　２日目アンケート、総合評価アンケート、連絡事項

15：40　解散

第9回全国学生ワークショップ参加者および班分け

Ⅰチーム

チーフ: 賀川 義之

A班	
市川　智彬	東邦大学
小山　貴士	大阪大谷大学
大口 宗一郎	名城大学
竹村　美穂	大阪大学大学院
田澤　実名子	青森大学
當眞　美咲	徳島文理大学
西村　悠汰	北海道大学
茂木　結菜	東京薬科大学

タスクフォース: 井上 裕文

B班	
金内　和也	奥羽大学
小林　風貴	城西国際大学
小山　雅敏	鈴鹿医療科学大学
末松　利嵩	第一薬科大学
床　紀枝	岡山大学
仁井田 怜子	昭和薬科大学
原野　寛子	兵庫医療大学
村山　咲	富山大学

タスクフォース: 安原 智久・平澤 典保

C班	
石田 悠	高崎健康福祉大学
志賀　菜々穂	新潟薬科大学
孫　俊吉	城西大学
徳永　吏紀	福山大学
中川　翼	慶應義塾大学
福滿　大貴	昭和大学
山田　茉梨乃	熊本大学
吉田　舞衣	大阪薬科大学

タスクフォース: 塩田 澄子

Ⅱチーム

チーフ: 河野　武幸

A班	
青山 春佳	明治薬科大学
小嶋　実花	岩手医科大学
加藤　雅大	神戸学院大学
加藤 優希	愛知学院大学
松田　将史	松山大学
丸岡　優	徳島文理大学香川薬学部
山本　理雄	東北大学大学院

タスクフォース: 川崎 郁勇・五十里 彰

B班	
石原　賢	帝京平成大学
大東 萌絵	京都薬科大学
佐藤 優	帝京大学
竹田 梨央	武庫川女子大学
中村　昂洋	九州大学
山本　隆弘	北海道医療大学
別府　祐季	福岡大学
小田切　州広	名古屋市立大学

タスクフォース: 徳山 尚吾

C班	
岡本 賢一	近畿大学
南田　有希	金沢大学
北村　大来	就実大学
木山　美佳	北陸大学
居石　里子	崇城大学
萩原　諒也	静岡県立大学
芳賀 瑞季	医療創生大学

タスクフォース: 長谷川 洋一

Ⅲチーム

チーフ:鈴木　匡

A班	
東　里沙	神戸薬科大学
猪又 啓徳	東北医科薬科大学
篠原　佳那子	広島大学
高橋　里奈	徳島大学
岩澤　佑典	星薬科大学
渡邉　颯	千葉科学大学
田代　愛	安田女子大学
丹下　優菜	立命館大学

タスクフォース: 大柳 賀津夫・濱島 義隆

B班	
赤井　康司	姫路獨協大学
伊元　李早	横浜薬科大学
折本　彬	長崎大学
山根　万奈	武蔵野大学
伴野　友香	国際医療福祉大学
藤丸　知佳	同志社女子大学
本田　彩加	北里大学
佐々木　貴寛	岐阜薬科大学

タスクフォース: 田村 豊

C班	
石合　崇人	日本薬科大学
新地　瑠海	長崎国際大学
坂倉　未映	京都大学大学院
須佐 紳之介	北海道科学大学
田中　絵理	摂南大学
松谷　真次	広島国際大学
高須　美玖	金城学院大学

タスクフォース: 入江 徹美・家入 一郎

講　師	
木下　牧子	光風園病院
紀平　哲也	PMDA
安川　孝志	厚生労働省

オブザーバー	
紀平　哲也	**PMDA**
福島　哉史	文部科学省
降籏　みを	文部科学省

事務局	
長谷川　順子	日本薬学会
寺沢　静恵	日本薬学会

ディレクター	
髙倉　喜信	会頭
平井　みどり	薬学教育委員長

タスクフォース	
高橋　寛	岩手医科大学薬学部
五十里　彰	岐阜薬科大学
家入　一郎	九州大学大学院薬学研究院
井上　裕文	福山大学薬学部
入江　徹美	熊本大学大学院薬学教育部
大柳　賀津夫	北陸大学薬学部
賀川　義之	静岡県立大学薬学部
川崎　郁勇	武庫川女子大学薬学部
河野　武幸	摂南大学薬学部
塩田　澄子	就実大学薬学部
鈴木　匡	名古屋市立大学大学院薬学研究科
田村　豊	福山大学薬学部
徳山　尚吾	神戸学院大学薬学部
中村　明弘	昭和大学薬学部
長谷川　洋一	名城大学薬学部
濱島　義隆	静岡県立大学薬学部
平澤　典保	東北大学大学院薬学研究科
安原　智久	摂南大学薬学部

卒業生		参加WS
円入　智子	ウエルシア薬局株式会社	2回
志田　拓顕	浜松医科大学医学部附属病院薬剤部	
小嶋 崇弘	株式会社メディシーク	
一戸　優美（旧姓：井元）	浜松医科大学医学部附属病院薬剤部	3回
志田　美春	大塚製薬株式会社腎循環研究所	
北川　奈美	株式会社サエラ　サエラ薬局倉敷2号店所属	4回
津倉　秀幸	中川調剤薬局らら薬局	
水野　稜子	福井循環器病院薬剤部	6回
清水　智仁	三菱倉庫株式会社埼玉第一営業所	7回
沖村　里咲	特定医療法人生仁会 須田病院 薬剤部	8回
熊野 諒太	東千葉メディカルセンター 薬剤部	
野尻 悠斗	株式会社 ヤナセ薬局（四郷店）	
船橋　智子	岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科	
松本　恵実	東北大学病院薬剤部	
宮坂　知英	石川県南加賀保健福祉センター	

卒業生担当:　中村 明弘

日本薬学会 第９回 全国学生ワークショップ

ワークショップ開催の経緯と概要

実行委員長　高橋　寛

2019年8月10日-11日
クロス・ウェーブ 府中

公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

日本薬学会　高倉　喜信　会頭

日本薬学会は、「くすり」に関係する研究者や技術者が、学術上の情報交換を行い、学術文化の発展を目的とする学術団体です。

2019年9月21日～23日開催予定

薬学教育委員会
- 薬学教育モデル・コアカリキュラム
- 若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ
- 全国学生ワークショップ
- 医療人養成としての薬学教育に関するワークショップ

文部科学省委託事業
- 薬学教育の改善・充実に関する調査研究
- 医療人養成としての薬学教育に係る教材や教育方法の開発に関する調査研究

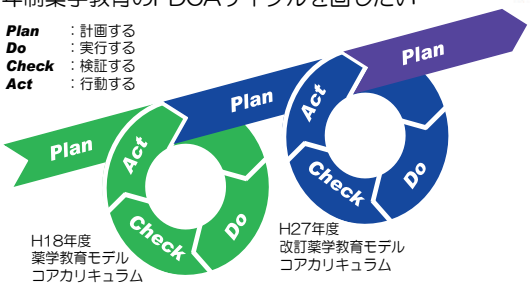
．．．．たくさんの薬学教育に関する活動

公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

６年制薬学教育のPDCAサイクルを回したい

Plan　：計画する
Do　：実行する
Check　：検証する
Act　：行動する



H18年度
薬学教育モデル
コアカリキュラム

H27年度
改訂薬学教育モデル
コアカリキュラム

公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

６年制薬学教育に対するフィードバックが欲しい

ただし、大学を背負う必要はありません。
個人の考えや感想で結構です。
気楽な気持ちで自由に発言して下さい。

厳しい意見や批判もありですが、できればそれを建設的な意見に変えてもらえると嬉しいです。

６年制薬学教育卒業生（薬剤師）の未来を一緒に考え、語ってみませんか？

ALL 薬剤師

公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

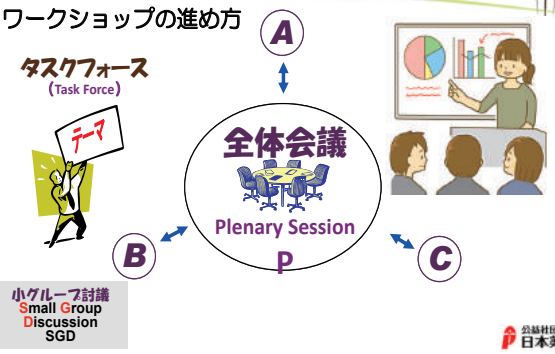
医療そして社会への貢献

～私たちで未来を創ろう～

公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

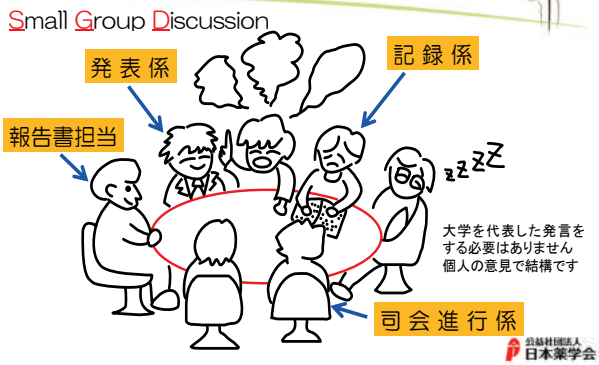
ワークショップの進め方



公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

Small Group Discussion



公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

PとSの構成（3P9S）

P	Ⅰチーム	A班（ⅠA）	・ B班（ⅠB）	・ C班（ⅠC）
P	Ⅱチーム	A班（ⅡA）	・ B班（ⅡB）	・ C班（ⅡC）
P	Ⅲチーム	A班（ⅢA）	・ B班（ⅢB）	・ C班（ⅢC）

公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

プログラム概要

１０日（土）
10：55　第一部　「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」
13：15　第二部（Ⅰ）　「未来の医療を想像してみよう！」
15：20　第二部（Ⅱ）　「これからの薬学に求められること」
17：20　教育講演1　「今、私が取り組んでいること、そして夢」
19：20　情報交換会
23：00　終了

１１日（日）
8：30　アンケート結果報告
8：35　第三部（Ⅰ）「どんな医療・社会を創っていくのか？」
10：30　教育講演2　「薬剤師に求める医療人としての心構え」
11：00　第三部（Ⅱ）「どうやって未来を創るのか？」
13：55　第四部　「10年後の薬剤師について：薬学会会頭、厚生労働省との情報共有」
15：40　解散

公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

ワークショップのルール

- お互いに名前を呼びましょう：〇〇さん、〇〇くん
  ⇒　名札は見える位置に
- タスクフォースの大学教員も「先生」でなく「〇〇さん」で呼んで下さい。
- 集合時間を守りましょう。
- スマホ・携帯電話の電源は切っておきましょう。

公益社団法人 日本薬学会

日本薬学会第９回全国学生ワークショップ

では
各チーム（P）に分かれてワークショップの開幕です！

タスクフォースが誘導します。
各Pの部屋に移動してください。

公益社団法人 日本薬学会

セッション報告

第一部「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」

テーマ

１「私の大学のここが好き（過去）」

２「６年間で成長したことについて自由に話してみよう（現在）」

３「10 年後の活躍している場面をイメージしよう（未来）」

第 一 部

World Café

私たちの歩み：過去、現在、そして未来

日本薬学会第9回全国学生ワークショップ

World Café とは？

World Café はグループワークの一つのやり方です。これから皆さんは、世界を旅する「旅人」になります。

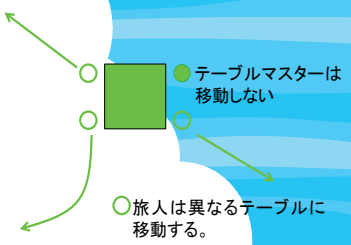
旅人は、出会った場所で“おしゃべり” や“落書き”をして、また別の場所に旅立っていきます。

今日は、旅をしながら3回のおしゃべりや落書きをしましょう。

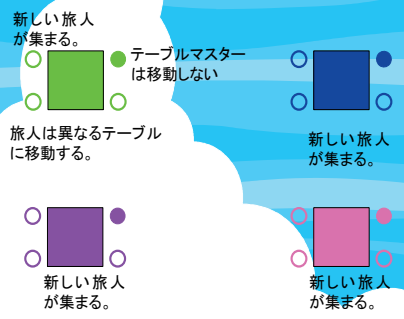
World Café の方法

- 4名くらいのグループで「おしゃべり（ラウンド）」を行いますが、テーマごとにメンバーを入れ替えます。
- テーブル毎に「テーブルマスター」を決めます。テーブルマスターは固定で、司会をします。
- 1回のラウンドは20分～30分で行います。ラウンドが終わると、旅人は別のテーブルに移動します。このとき、なるべく違う旅人同士が集まるように移動しましょう。

旅人の移動



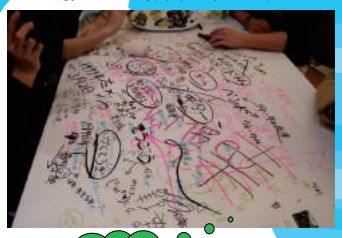
旅人の移動



テーブルマスターのお仕事

1. 各テーブルにおける「おしゃべり」が盛り上がるように工夫してください。
2. 第1ラウンドでは、指定されたテーマでの「おしゃべり」の司会をお願いします。
3. 第2ラウンド以降は、旅人の「自己紹介」の前に、テーブルマスターから「前のラウンド」で印象に残ったお話しを1分で紹介して下さい。その後、そのラウンドのテーマの「おしゃべり」の司会をして下さい。
4. 旅人は「おしゃべり」に夢中になる傾向があります。旅人に「落書き（気付きや感想）」をするように促して下さい。
5. 第1部の報告書（概要と感想 A4 1枚）を担当して下さい。

模造紙の提出はありません。（旅人の落書き帳です！）



落書きはたくさんあるほど楽しいです！

World Café では…

- たくさんの旅人と知り合いになれます。
- ということは、いろいろな人の話が聞けます。
- いろいろなお話し（他花受粉）によって、新しい発想が生まれます。
- でも、「声の大きい人」の旅の軌跡が分かってしまいます。
- テーブルマスターは、ちょっと大変なので、旅人は「利他的」な行動をお願いします。
- 自由討論での発言は、1回一人1分以内でお願いします。

今日の World Café のスケジュール

移動
11:15 ～ 11:35　第 1 ラウンド
移動
11:35 ～ 11:55　第 2 ラウンド
移動
11:55 ～ 12:25　第 3 ラウンド

12:25　昼食（4 階）

第 1 ラウンドのグループ編成

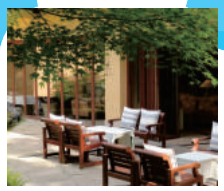
- 今から P のメンバーでグループを6つ作ります。
- P 会場を Café に模様替えしつつ、グループを作ります。少しだけお手伝い下さい。
- 時間の都合上、テーブルマスターはこちらで指名させていただきます。
- 旅人になった方は、各テーブルに移動して下さい。旅人の定員は2～3名です。

テーブルの位置とテーブルマスター

名簿の1番目と5番目の人

1 ○○ ○○ さん	2 ○○ ○○ さん	3 ○○ ○○ さん
4 ○○ ○○ さん	5 ○○ ○○ さん	6 ○○ ○○ さん

Welcome to
World Café Pharmacy



第1ラウンド

第1ラウンドのメニュー

テーマ:「私の大学のここが好き」

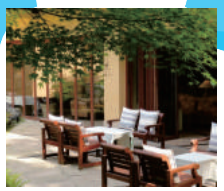
11:15 ～ 11:35 （20分間）

- テーブルマスターは司会役をお願いします。
- 自己紹介を兼ねて、旅人は「私の大学のここが好き」について紹介して下さい（1人1分程度）。
- 話しを聞きながら模造紙にできるだけたくさん落書きをして下さい。

移動です

- 旅人は、旅に出て別のテーブルに移動して下さい。
- なるべく第1ラウンドのメンバーと同じにならないように！
- 各テーブルの旅人の定員は2～3名です。テーブルマスターは人数を調整して下さい。

Welcome to
World Café Pharmacy



第2ラウンド

第 2 ラウンドのメニュー

テーマ:「6年間で成長したことについて自由に話してみよう」

11:35 ～ 11:55 （20分間）

- 第1ラウンドの話題をテーブルマスターから聞いて下さい（1分）。
- 自己紹介と第1ラウンドで印象に残ったことを話して下さい（1人1分）。
- 全員の紹介が終わったら、このテーマについておしゃべりして下さい。
- 話しを聞きながら模造紙にできるだけたくさん落書きをして下さい。

移動です

- 旅人は、旅に出て別のテーブルに移動して下さい。
- 第1、第2ラウンドのメンバーとは、できるだけ同じにならないように！
- 各テーブルの旅人の定員は2～3名です。テーブルマスターは人数を調整して下さい。

Welcome to

World Café Pharmacy

第3ラウンド

第 3 ラウンドのメニュー

テーマ:「10年後の活躍している場面をイメージしよう」

11:55 ～ 12:25 （30分間）

- 第1、2ラウンドの話題をテーブルマスターから聞いて下さい（1分）。
- 自己紹介と第2ラウンドで印象に残ったことを話して下さい（1人1分）。
- 「10年後の活躍している場面」を A4 用紙に絵で示して下さい（5分）。
- 絵だけをメンバーに見せて、まずはクイズ形式でメンバーに答えてもらって下さい。
- 話しを聞きながら模造紙にできるだけたくさん落書きをして下さい。

歴史に残る絵は
期待していません。

10年後の活躍している場面を描いてみましょう！

絵の中に説明は書かなくて結構です。

グループ名・イニシャル（お名前）を書いておいてください。

終了です！

① 4階に移動して昼食です。
② 絵を近くのタスクフォースに渡してください。
③ 13時15分までに3P会場に集合してください。

ＩＡ班−1

第一部では「私たちの歩み:過去、現在、そして未来」というテーマで World Café 形式で討論を行った。4 名のグループで、テーマごとにメンバーを入れ替えて「ラウンド」を行った。各ラウンドでの討論について以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第1ラウンドでは、自分の大学の好きなところについて話し合った。

・トイレが綺麗
・医学部や附属病院があるのでそこで卒業研究ができる
・校舎が綺麗
・研究室が綺麗
・学校の近くに美味しいお店が多い
・家から通いやすい

第 1 ラウンドでは上記のような意見が出た。大学の設備や立地などに関する意見が多く出た。大学で勉強に励むには、勉強の内容だけではなく、勉強する環境も大事だという意見の学生が多かった。そのため学内の設備が綺麗であること、息抜きのために学校の周辺環境が整っていることが好きな点であるという意見が多かった。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

第 2 ラウンドでは 6 年間で成長したことについて話し合った。

・グループワークを通して人と協力する力や人前で話す力がついた。
・卒業研究を通して、研究が好きになった。プレゼンテーション力がついた。
・オープンキャンパスのスタッフをやることで、教える能力がついた。
・一人で海外に行けるようになった。

第 2 ラウンドでは上記のような意見が出た。グループワークや卒業研究、オープンキャンパスのような学業以外の活動などを通して、グループで協力したり、プレゼンテーションをしたりする力がついたという意見が多く上がった。これは低学年からグループワークを行う機会が多かったからという意見が出た。また卒業研究を通して、海外の学会に一人で参加する機会があり、一人で海外に行けるようになったという意見も出た。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

第 3 ラウンドでは 10 年後の自分が活躍している場面を各自 A4 サイズのイラストにした。まず、班内のメンバーがそのイラストのみを見てどんな場面かクイズ形式で答えてもらい、その後イラスト作成者が解説するという流れで進行した。

・厚生労働省で薬事行政に携わり、日本を高齢化医療のモデル国として世界に発信していきたい。
・中国語や英語が話せるのを生かして、薬局で様々な国籍の患者さんと関わっていきたい。
・病院薬剤師として患者さんを笑顔にできるようになりたい。
・患者さんや他職種と関わっていきたい。また研究を行い、学会発表なども積極的にしていきたい。

第 3 ラウンドでは上記のような意見が出た。臨床現場で薬の専門家として、直接患者さんに関わっていきたいという意見がある一方、薬事行政に関わり、医療福祉に関わる制度を変えていくことで、医療に貢献していきたいというような意見もあった。このラウンドでは薬剤師の多様性を再確認することができた。

総括

全体を通して、共通することも多く、グループ全体が楽しんで活発に意見を交わすことができた。特に「10 年後の活躍している場面」について話し合う第 3 ラウンドでは、全員が将来像をしっかり持っており、いい刺激を受けることができた。また、他の人の夢について聞くことで、自分の夢についても考えるきっかけとなった。全体が打ち解けることができ、有意義で楽しい時間であった。

ＩＡ班－2

第一部では、「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」というテーマで World Café 形式で討論を行った。各グループ 4 名でメンバーを入れ替えながら、1 ラウンド 20～30 分で全 3 ラウンドの討論を行い、気付きや感想を模造紙に記録した。各ラウンドでの討論を以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第 1 ラウンドでは、上記のテーマについて自由に意見交換を行い、以下のような意見が上がった。

・自然が豊かで勉強に集中しやすい
・大学の面積が狭い方なので、コンパクトで良い
・成績のフィードバックをしてくれる。
・アドバイザー制度（教員 1：生徒 1）で先生と話しやすく、質問しやすい

グループ内では、どの大学も、自然が豊かという面で共通しており、勉強に集中できる環境として自然が豊かなところが好きな面であるという意見が多かった。他にも、勉強面においては、教員との距離が近く、質問しやすいところなどが好きな面として挙げられた。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

第 2 ラウンドでは、まず、第 1 ラウンドで印象に残った内容を各自 1 つずつ挙げ共有した後に、上記のテーマについて意見交換を行った。意見交換の結果、以下のような意見が上がった。

・大学に入学する前より人と話せるようになった。
・相手に伝わるようなコミュニケーション力がついた。
・周りから“成長したね”といわれるようになった。
・日常的に大学で学んだ知識を使うことが増えた。（OTC 医薬品、サプリメントなどの成分を気に留めるようになった。）

コミュニケーション力がついたという部分は、グループ内共通して、大きく感じる部分であるという意見が多かった。これには、実務実習で実際の現場に出たことはとても大きかった。相手のことを深く考えることが増えた。という意見も多く、それに共感する意見も多かった。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

第 3 ラウンドでも、まず、第 2 ラウンドで印象に残った内容を各自 1 つずつ挙げ共有した。その後に、各自が自分の活躍している場面を絵に表し、クイズ形式でその内容を紹介して、意見交換を行った。紹介された絵には、病棟薬剤師業務、服薬指導、学会発表、在宅医療など、思い思いの場面が描かれていた。

サプリメントや OTC 医薬品のことを聞かれた時にすぐに答えられるような薬剤師や、配合変化にも詳しい薬剤師。医師や看護師からも頼られる薬剤師になりたいという意見のほかにも、病棟薬剤師として、チーム医療に貢献したい。臨床研究に貢献したい。仕事だけでなくプライベートも充実させたい。など、どのメンバーも将来への思い溢れる意見交換となった。

感想

第 1 ラウンドでは、自己紹介や話し合いも少し緊張している空気があったが、第 2、第 3 とラウンドを進めていくごとに、模造紙に書かれた内容や前のラウンドで聞いた内容などからお互いに話が広がっていくのはとても印象的だった。他大学の学生同士で意見交換をすることは、自分と違う目線を感じることができ、とても新鮮でいい経験になった。

ＩＢ班−1

第一部では、「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」をテーマに World Café 形式で全 3 ラウンドの討議を行った。1 グループ 4 名でラウンドごとにテーブルマスター 1 名を除いてメンバーを入れ替え、模造紙に気づきや感想を記録した。各ラウンドの討議について以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第 1 ラウンドでは上記のテーマについて自由に討論した。

・寮の自由度が高い、他学部との交流が盛んである
・校舎がきれい、庭に滝がある
・立地のよさ、とにかく便利

大学の機能面に関する意見が多く挙げられた。学生寮については未設置の大学からはうらやむ意見もあったのに対し、門限といったわずらわしさもあるようだった。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

第 2 ラウンドは、まず、第 1 ラウンドで印象に残った内容を各自 1 つ挙げ共有した。その後、上記のテーマについて自由に討論した。

・薬学に関する知識、技能
・PC の使い方、統計処理
・コミュニケーションとコネ

全員が、第一に薬学に関する知識、技能の成長を挙げた。次いで多かったのは PC そのものやエクセル、ワード、パワポといったソフトを使用できるようになったことを挙げた。また、大学関係者や医療従事者とのコネクションも大変重要であるという意見もあった。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

第 3 ラウンドは、まず、第 1 ラウンドと第 2 ラウンドで印象に残った内容を各自 1 つ挙げ共有した。その後、上記のテーマを各自が絵で表現し、クイズ形式でメンバーと共有した。について上記のテーマについて自由に討論した。

・正確な情報の提供者として講演する
・病院薬剤師として家庭と仕事を両立する
・薬局薬剤師として在宅医療にかかわる

病院、薬局、情報提供者など 10 年後の活躍している場面を明確にイメージしている人がほとんどであった。なぜこれらの進路を思い描いたのかについて情報を共有した。また、当グループの女性メンバーは全員が結婚のビジョンを強く描いていた。

総括

第 1 ラウンドはテーマこそ砕けていたが初回ならではの緊張感があった。第 2 ラウンド

は他のグループからの話を持ち帰ることで議論は活発になり、自身や他者に対する意見も数多くでたように感じた。第3ラウンドでは、各々の絵のクオリティに不安はありつつも未来についてイメージしそれを形に残すことで普段と違った刺激を得ることができた。全ラウンドを通じて、一人一人が自身の過去、現在、未来を考え、きっかけや現状を見つめなおす良い機会になったと考えられた。

ＩＢ班－2

第一部では、「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」というテーマのもと、World Café 形式で全3ラウンドの討論を行った。ラウンドごとにメンバーを入れ替え、「おしゃべり」を行った中での気付きや感想を「落書き」として模造紙に記録した。 各ラウンドの討論について以下にまとめる。

＜第1ラウンド＞「私の大学のここが好き」

最初に各々の大学の好きなところを発表した後は、各大学の紹介のような話題になった。各大学のメンバーの話を聞くうちに、今まで当たり前と思っていたことが当たり前ではなかったことに気づけたり、各々が自分の大学の新たな長所に気づくことが出来ていた。

・研究をしっかりしている
・人数が少ないからこそ仲がいい
・キャンパスがきれい
・水曜日がアイスの日になっていて、アイスが安く買える
・他の医療系学部や一般学部との交流がある

＜第2ラウンド＞「6年間で成長したことについて自由に話してみよう」

どのメンバーからも主に研究、実習を通して成長したという意見があがった。研究からは、資料作成能力やプレゼン能力、研究分野における知識、論文を読むための英語力を得たという意見があがった。実習からは、知識やコミュニケーション能力を得たという意見があがった。その後は各々の大学や実習先の話になった。国際病院で実習をしたメンバーからは、病院実習で外国人患者と接する機会があり、今後も2020年に向け、外国人患者の増加が予想されるので、企業に限らず病院や薬局等でも語学力が必要になるという意見があがった。

＜第3ラウンド＞「10年後の活躍している場面をイメージしよう」

本ラウンドでは、個々のメンバーが10年後の活躍している場面をそれぞれ絵に描き、その内容を他のメンバーが当てるという形式で、それぞれの将来像について話し合った。各メンバーが絵に描いた将来像は以下の通りであった。

・臨床現場で働きつつその中からクリニカルクエスチョンを見つけ、それを研究して患者、ひいては世界中の人々に還元している
・病院実習のとき放置されていたので、実習生に対してきちんと教育できる指導薬剤師になっている
・キャリアウーマンとしてキャリアを積みながら、結婚・出産等のプライベートも充実させている
・循環器に強い病院薬剤師となっている

ＩＣ班−1

第一部では「私たちの歩み：過去、現在、未来」というテーマで World café 形式で討論を行った。全 3 ラウンドで、各ラウンドで与えられたテーマについて 1 グループ 4 名（ラウンドごとのメンバー変更）でおしゃべりしながら模造紙に気づきや感想を落書きし、記録した。以下にその内容をまとめた。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

・自然に囲まれている。
・ドラマのロケ地になった。
・食堂の朝定食が安い。

このテーマでは、上記のような意見が挙がったが、同時に嫌な所の意見も多く挙がっていた。自分の大学の良さを感じるよりも、不満を感じることが多いのかもしれないと思った。しかし、これを機に自分の大学の好きなところを改めて考える良い機会になったのではないかと感じた。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

・バイトやサークル、目上の人とのメールのやり取りなどを通じて、コミュニケーション能力が上がった。
・先輩や後輩、様々な人とのつながりを作れた。
・薬学の知識が向上した。
→ドラッグストアなどで OTC の成分を見て、分かるようになった。

全員共通して、コミュニケーション能力や知識が向上したという意見が挙がった。 6 年間薬学生として生活する中で、みんな様々なことを経験し、様々な人と交流し、それを自分を成長させる糧にできたのだと感じた。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

それぞれが 10 年後の自分をイメージし、その場面を絵を描いて表現した。私のテーブルでは、病院でベッドサイドで患者を支える自分、チーム医療のチームの一員として病棟をラウンドしている自分、薬局で在宅を中心に活動している自分、エリア長として若手薬剤師の育成やマネジメントをしている自分をイメージした。全員が強い意志をもってそれを描いたので、10 年後にはきっとそれが実現しているだろうと感じた。

総括

互いに全く知らない状況でこの WS の最初のプログラムだったので、少なからずみんな不安を抱えながら取り組んだと思われる。しかし、過去、現在、未来を語り合うことで互いのことを知り、不安を取り除くきっかけとなった。この導入のおかげで、以降のプログラムで楽しい交流や活発な議論が行うことができたのではないかと考えた。

ＩＣ班－2

第一部では、「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」というテーマで World Café 形式で全 3 ラウンドの討議を行った。1 グループ 4 名（計 6 グループ）で ラウンドごとに小テーマが与えられ、テーマに関する意見を交換し、内容・感想・気付き 等を模造紙に自由に記録した。各ラウンドの討議について以下にまとめる。

＜第１ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第１ラウンドでは、上記のテーマで各自の大学の好きな点、またそこから転じて自身の大学の良い点について自由に意見交換していった。 議論に出てきた項目を以下にまとめる。

〈大学の施設・立地面〉

大学構内に美術館がある、大学の近くに川があり自然の中で遊ぶことができる、都心なのでランチがおいしいなど

〈大学の提供するサービス面〉

女子学生専用のバスがある、学食がおいしいなど

＜第２ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

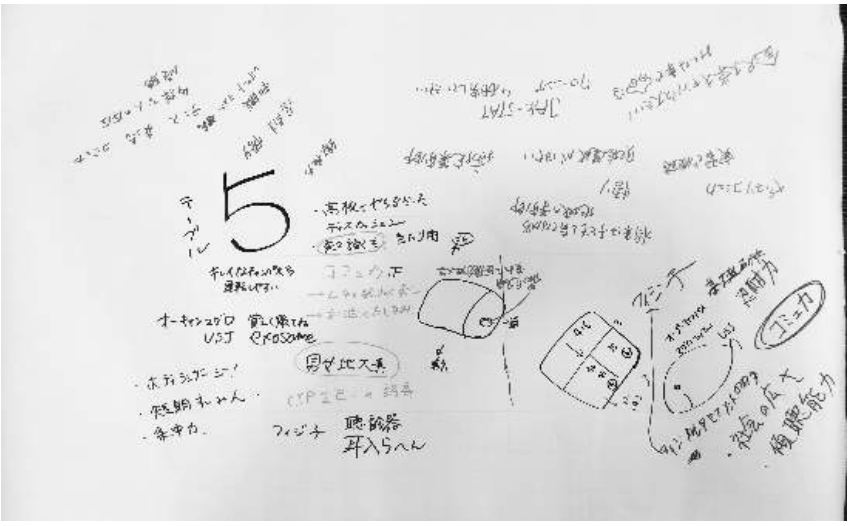
第２ラウンドでは、上記のテーマで各自が大学生活を経て成長したと思う点について共有した。心が広くなった、自分の世界が広がったなど多種多様な意見が挙げられたが、全てに共通して、大学での勉学＋αの活動(サークル活動、バイトなど)によって人間としての厚みが出るような成長をすることができたのではないかという結論となった。

＜第３ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

第３ラウンドでは、上記のテーマでまず各自が自分自身の将来を想像し、A４の紙に絵で示した。その後、それぞれの絵が何を表しているのか当てあい、お互いの将来の夢について共有した。薬剤師として教育現場に立つ未来を描く人もいれば、経営者として地域に根差した薬局を開く夢を持つ人もいて、薬学の汎用性を実感することができた。また、ただ薬剤師をやるのではなく、それぞれの業界をリードしていくような立場に立ちたいと思っていたり、成し遂げたいことを芯に持っている人ばかりで、そういった思いを共有することができ、２日間のディスカッションへのモチベーションを高めることができた。

総括

初対面の学生同士ということでなかなか会話が弾まない場面もあったが、参加者一人一人が高いモチベーションを持っている学生ばかりで、テーブルマスター―だけでなく参加者全員によって会話が進められていった。また、最後の将来の夢の共有では、お互いの志や大切にしている部分を自己開示することができ、一気に学生同士の距離を詰めることができたのではないかと思う。3 ラウンドを通じて、これまで自分の中になかった新たな意見を交換し合うことができ、個人的にも大変刺激になった World Café だった。



ⅡA 班－1

第一部では「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」というテーマで World Cafe 形式で討論を行った。4 名のグループで、テーマごとにメンバーを入れ替えて「ラウンド」を行った。各ラウンドでの討論については以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第 1 ラウンドではテーマで各自の思うことを自由に討論した。

・5 年次の実習では薬局・病院の標準コースの実習に加え、7 つのコースがある。興味のあるコースを 11 週間体験し、実務経験を深めることができるところが良い。
・どの大学よりも一番綺麗なキャンパス。有名な観光名所が学内から見ることができる。海沿いにあるから釣りをして、新鮮な魚をさばいて朝ごはんにできる。
・全員薬学部で、横の繋がりが強いこと。試験期間中の情報交換が活発で、大学全体で一致団結している。
・総合大学から、新たに薬学部ができて 9 年。薬学以外の講義を受けることができる。立地的にのんびりしていて、平和な学生生活を送ることができる。

それぞれの大学の長所がでてきた。勉強が忙しい中でも各々学生生活を楽しんでいた印象であった。薬学の単科大学と総合大学で、自由選択の講義の幅や、他学部交流がある点が違っていた。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

第 2 ラウンドでは上記のテーマで各自思うことを自由に討論した。

大学での経験で成長したという意見もあった。研究を通して、筋道を立てて考えることや、試験を乗り越えるために計画的に行動する力がついた。また、アルバイトやサークルでのリーダー経験により成長したという人も多かった。

今回のテーマで共通した意見として、大学生になり、交友関係が広がり、色々な背景をもった人と関わることで周りの人から刺激を受けることが成長するきっかけとなったということでまとまった。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

第 3 ラウンドでは、上記のテーマに沿って各々が絵を描き、絵の内容をクイズ形式で紹介しあう形で討論を進めた。

就職先が大学病院である人は、患者さんのベッドサイトで薬物治療のサポートをし、患者さんを笑顔にするために働く姿を描いていた。また、製薬企業の MR として働く人は地域医療のサポートや臨床現場で起こる問題解決へ向けて働く姿や、管理職へ昇進しチームをまとめている姿を描いていた。製薬企業の開発職で働く人は、英語を話せるようになっている姿や文献を読むことでさらに医療の知識を深めながら働いている姿を描いていた。同じグループに集まった 3 名は、それぞれ違った職種への就職先が決まっており、活躍する姿もそれぞれではあった。しかし、メンバー全員に共通することはどの絵の中に患者さんがいた。10 年後に、患者さんに笑顔になって貰うために、自分自身の薬学への知識をさらに深めることで、患者さんに貢献し、活躍していきたいという想いがあった。

総括

各ラウンドでメンバーが入れ替わり、World Café 形式で討論を進めることにより、意見が活発に飛び交い、色んな人から刺激を受けることができた。特に、第 3 ラウンドで

「10 年後に活躍している場面をイメージしよう」というテーマの話し合いでは、メンバー全員が今までの学びや経験を活かし、活躍していきたいという意気込みがあり、新たな刺激を受けた。第一部でメンバーに対する理解が深まったことで、以降の討論でも活発に意見が飛び交うことができたと思う。

ⅡＡ班－2

第一部では、「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」をテーマに、World café 形式を用いて全３ラウンドの討論を行った。1 グループ３～４名程度で、ラウンドごとに小テーマが与えられ、テーマに関した意見を出し合い、気付きや感想等を自由に模造紙に記録した。各ラウンドの討論の内容について以下にまとめる。

＜第１ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第１ラウンドでは、上記のテーマで自由に討論した。

・学生と先生の距離が近い、先生が顔と名前を憶えてくれる
・学食が美味しい
・立地が良い
・オリジナル白衣がある
・研究に力を入れている
・建物がきれい

上記のような意見が挙がった。全国各地の大学の学生が集まったため、各地方の良さについても絡めてそれぞれ意見を述べた。国公立大学の子からは研究に力を入れているという意見が出た一方で、私立大学の子では研究よりも勉強に力を入れているといった違いが見られた。

＜第２ラウンド＞「６年間で成長したことについて自由に話してみよう」

第２ラウンドでは、第１ラウンドで印象に残ったことを軽く話した後、上記のテーマで自由に話し合った。

・薬学の知識が身についた
・勉強や部活、アルバイトとやることが多く、その中で時間配分ができるようになった
・学生主体で部活動を行うことで、運営の仕方等について学んだ
・出身地が違うと方言もあり、相手にどうしたら伝わるかを考えられるようになった
・旅行に行くことで人生経験を積むことができた
・アルバイトで高齢者への接し方を学んだ
・アルバイトでマナーや言葉遣いを学んだ

薬学部に入って学んだこともちろんあるが、大学生としてアルバイトや部活、旅行を経験して社会勉強になった、という話題が最も盛り上がった。薬剤師として社会に出て働くようになる以上、大学で薬学の知識だけを身に着けるのではなく、色々なことを経験し、言葉遣いやマナー等の社会勉強もしていくことが重要だという結論で一致した。

＜第３ラウンド＞「１０年後の活躍している姿をイメージしよう」

第３ラウンドでは、５分程度で各自１０年後の活躍している姿をＡ４用紙に描き、それが何を表しているかクイズ形式で答えていった。

クイズ形式で答えた後、各自が描いている自分の活躍している姿について話し合った。将来の就職先によって描くイラストは違ったが、認定薬剤師の資格を取りたい、文献を読みこむことで薬剤師として知識をつけて医師からも信頼されるようになりたいといった共

通点もいくつか見受けられた。やりたいことだけではなく、実務実習で経験したことや自分の体力、転職など様々なことを加味して、１０年後の将来を考えていることが印象に残った。

総括

ワークショップの最初の討論であったが、World café 形式で行うことで、同期の皆とすぐに打ち解け話すことができた。全体を通して、全員が偏ることなく意見を交換することができ、第二部以降の討論にスムーズにつなげることができたと思う。同じ薬学部の６年生ではあるが、経験の違いから持っている視点も異なり、互いに刺激を与えあうことができ、有意義な第一部となったと考えられる。

ⅡＢ班－1

第一部では「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」をテーマとした World Café 形式の討論を行った。4 名 1 グループでラウンドごとにメンバーを入れ替え、与えられたテーマに沿って話し合いを行い、気づきや感想をテーブル上の模造紙に記録した。各ラウンドについて以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私たちの大学のここが好き」

自身の通う大学の好きなところについて自由な意見交換が行われた。

・研究室が楽しい
・建物が新しくきれい
・年中無休であり、いつでも出入りができる
・大学から見える夜景がきれい

上記のような意見が出された。多くは大学の立地や教育制度についての意見であった。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

6 年間の大学生活を振り返り、成長したことについて意見交換が行われた。

・薬や病気についての幅広い知識
・研究分野の専門的な手法や知識

上記のような意見が出された。授業や実習、研究を通じた知識や技能の獲得といった意見が多く見られた。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している自分をイメージしてみよう」

10 年後活躍している自分について絵を用いて表現した。

・患者のベッドサイドに寄り添い薬学的ケアを実践している薬剤師
・薬局において患者に対して包括的なサポートを実践している薬剤師
・病院において臨床研究を行い患者のＱＯＬ向上に貢献している薬剤師

全員が薬局、病院の薬剤師として活躍したい考えていた。患者に寄り添い、薬だけではない多方面からのアプローチを行うことで、より良い医療を提供していきたいという気持ちが非常によく伝わった。

総括

異なる環境で学んできた人たちと討論することで、各々の薬剤師像について知ることが

出来た。また、活発な意見交換が行われ早い段階で打ち解けられたことから、ワークショップの導入として有意義な時間となった。

Ⅱ B 班－2

第一部では「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」と称して World Café 形式で全 3 ラウンドの討論を行った。3~4 名のグループで話し合い、ラウンドごとにメンバーを入れ替え、気づいたことや感想などを自由に模造紙に記録した。以下、各ラウンドの討論についてまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第 1 ラウンドでは、自分の大学の好きなところについて意見を交わした。

・学部の数が多いので、いろいろなタイプの人と関わることができる。
・教授に対して気兼ねなく相談できる。
・3 年次までの成績で学科が決まるので、向上心を持って勉強に取り組める。
・大学病院で実習をさせてもらえるので、質の高い勉強ができる。

第 1 ラウンドでは、上記のような意見が出た。参加したメンバーが国立・県立・私立大学出身と綺麗に分かれていたため、大学の特徴も異なり多様な意見が出たように思う。他に、駅が近いという利便性の観点から見た意見もあったが、反対に大学が山の上にあると立地の悪さを嘆く学生もいて、6 年間通い詰めるのだから確かに重要な問題だと感じた。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したこと」

第 2 ラウンドでは、薬学部に入学してからの 6 年間で成長したことを話し合った。

・コミュニケーション能力や社会人としてのマナーが身についた。
・パワーポイントやエクセルなどのソフトウェアを使いこなせるようになった。
・研究室で、臨床の視点で考える力が向上した。
・研究をすることで精神的にも肉体的にも忍耐力がアップした。

第 2 ラウンドでは、上記のような意見が出た。個人的に気になったのは、研究室に入るまではただただ講義を受け、それ以外の時間はバイトやサークルに明け暮れていたため、研究室に入ってから成長したという意見が多数を占めていた点で、3 年次までに大きく成長したという意見が見られないことだった。その他ユニークな意見として、お酒が飲めるようになった・太った（肉体的に成長した）・車の運転が上達したなどが印象深かった。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面」

第 3 ラウンドは、10 年後に仕事で活躍している様子を各自 A4 サイズの用紙に絵を描き、他の班員がどの場面かを当てるクイズ形式で行われた。

・薬局で患者に対して服薬指導をしている絵
・病院で働きながら臨床研究もしている絵
・大学・薬局・病院での連携強化を模した絵
・MR として訪問先に車で向かっている絵

描かれた絵は上記の通りであった。大学・薬局・病院の連携強化を模した絵に関しては、未来の医療をより良いモノにしたいという思いがとてもはっきりと伝わってきたので、非常に感銘を受けた。他のメンバーも 10 年後の自分が働いていている様子を具体的にイメージできていたように思う。余談だが、MR として訪問先に車で向かっている絵に関して

は車以外に何も描かれていなかったので、他の班員が正解を導き出すのに大変難渋した。

総括

ワークショップの最初のセッションであったが、皆緊張することなく終始和やかなムードで話せていたと思う。そのためか、しばしば本題から話が逸れてしまうこともあったが、それは一つの意見から様々な方向に議論が発展していったということの裏付けでもあると考えられる。また、ここで他の学生と打ち解けることで、その後のセッションの議論に気後れすることなく参加できたため、アイスブレイクとしては大成功だったように感じる。

ⅡＣ班－1

第一部では「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」について、WorldCafé 形式にて討論を行った。各ラウンド１テーマについて３-４名の旅人が“おしゃべり”しながら、時に“落書き”をする討論方法で、３ラウンド実施した。各ラウンドでの討論について以下にまとめる。

＜第１ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第１ラウンドでは自身が所属する大学の好きな点について話し合った。

・フィジカルアセスメントを積極的に行っている　・オープンキャンパスに力を入れている

・静かな立地で勉学に集中しやすい　・キャンパス内が広くてきれいで居心地がいい

・３年次に４年制と６年制に分かれるため、勉学や研究に取り組むきっかけになる

第１ラウンドでは、上記のような、講義内容や立地に関する意見が挙げられた。

講義内容について、近年注目されつつあるフィジカルアセスメントを積極的に講義に取り入れている大学もあり、今後薬剤師に期待される業務に関連した講義内容に、好印象を抱く学生が多いことが分かった。一方、各大学の進路等に関する制度の差異について、上記の様にモチベーションの一つとして捉える学生だけではなく、不平等感を覚える学生も少なからずいることが明らかとなった。立地に関しても各大学に長所短所があり、学生生活をどのように充実させるかについて、試行錯誤しているように感じた。

＜第２ラウンド＞「６年間で成長したことについて自由に話してみよう」

第２ラウンドでは、薬学部入学から６年間で成長したことについて話し合った。

・コミュニケーション能力・傾聴力・問題解決能力・集中力・徹夜力・忍耐力

・取捨選択の速さ・知識（薬学以外も含む）・日々の出来事に薬学の知識を繋げる能力

第２ラウンドでは上記の項目の向上についての意見が挙げられた。

上記の分野が成長したと感じた理由について、「薬学部入学後、教授等から与えられる課題や自分自身で発見した課題の量が今までで最も多く、それらを解決していくにあたって自然と成長した」と皆が声をそろえて回答していた。また、コミュニケーション能力や傾聴力は、５年次の病院薬局実習時に「社会には多種多様な人がおり、その人たちに対してどのように薬学的な知識を用いたコミュニケーションをとることができるのか」について考えたことによって向上したと考察した。

＜第３ラウンド＞「１０年後の活躍している場面をイメージしよう」

第３ラウンドでは、各自１０年後の活躍している場面を各自 A４サイズのイラストにし

た。そして、班内のメンバーがそのイラストのみを見て、どのような場面かについて答えてもらい、その後イラスト作成者が解説する形式で進行した。

・病院薬剤師として薬剤師業務だけではなく、学会発表や論文投稿を交えて医療に貢献したい。

・大学院への進学後、現在の基礎研究をつづけながら、趣味のスポーツを続けていきたい。

・自身の家庭を持ちながら、薬局薬剤師として地域の人々の健康水準向上に貢献したい。

第３ラウンドでは、上記を表すイラストが作成された。

薬のプロフェッショナルとして、臨床現場で直接患者に接したいという意見がある一方、研究者の立場から医療に貢献したいという意見もあった。また、何名かの学生からは、自身の生活や趣味という土台ありきの医療への貢献という意見もあり、働き方が多様化する社会の中で、皆がそれぞれの将来設計をもって、薬剤師としての活躍を考えていることが明らかとなった。

Ⅱ C 班－2

第一部では「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」をテーマに、World Café 形式で討論を行った。3～4 名で 1 グループをつくり、テーマごとにメンバー（旅人）を入れ替えた（ラウンド）。ラウンドごとに与えられたテーマに沿って話し合いを行い、話し合いをする中での気づきや感想を、テーブル上の模造紙に自由に記載した。各ラウンドの話し合いについて以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

・CBT や国試の対策を早期に行うなど、勉強面のサポートが厚い（過保護）
・リスト内から希望する実務実習先を選択できる
・トイレなど校舎内が綺麗
・大学の立地が主要各線乗り入れ駅から 2 駅

第一ラウンドでは、自分の大学の好きだと感じる点について話し合った。まず始めに、勉強面のサポートが挙がった。定期試験やこれからむかえる国試は学生生活で感じる不安の一つであり、大学からの勉強面のサポートは学生にとって心強いものと思われた。また、大学の立地を挙げる者もおり、自然豊かな山の中より都市部にある大学を羨む声も挙がった。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

・薬剤師の活躍できる場は幅広いことを知った
・家族の体調不良時に薬治などで学んだ知識を当てはめるようになった
・教授とのメールのやりとりや、就活を通して言葉遣いやマナーが身についた
・度胸がついた（アルバイト、オープンキャンパスのスタッフ経験を通して）
・アルコール耐性がついた
・一人暮らしを通して家事が身についた

第 2 ラウンドでは、大学に入学してから 6 年間で自分が成長したことについて話し合った。薬学部入学以前には、薬剤師は調剤だけを行うイメージを持っていたが、幅広い職能を求められることを理解したとの意見が挙げられた。また、食事会等を通して友人や教授を含む研究室の仲間同士で交流を深めた結果、アルコール耐性がついたとの意見は共感の

声が挙がり印象に残った。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

各自がイメージする、10 年後に活躍している自分の姿を A4 用紙に描写した。その絵をクイズ形式で他のメンバーに提示し、次に本人が何故その絵を描いたか説明した。

・教育者になりたい。病院薬剤師として臨床で幅広い知識を身に付けた後、その知識を学生に教える側となりたい。

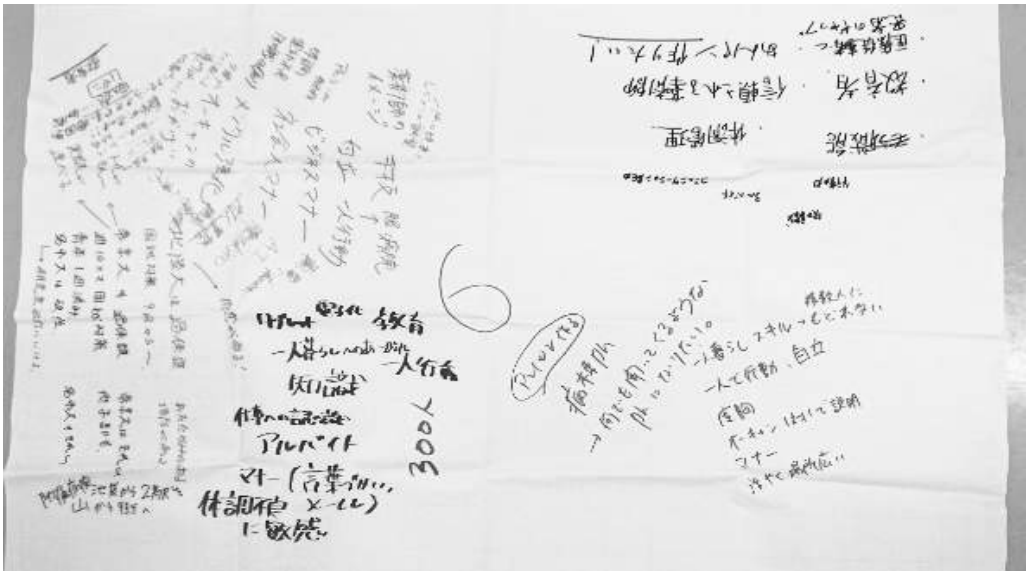
・人口の少ない過疎地域でタブレットなどを介した診療の現場に携わりたい。

・患者さんや医療従事者に、あの人なら安心して声をかけることができる、頼ることができると信頼される病院薬剤師となりたい。患者さんと他の医療従事者との懸け橋のような存在。

第 3 ラウンドでは、10 年後活躍する自分について話し合った。なぜその将来をイメージしたのか経緯を聞くことで、これまで意識していなかった進路や薬剤師の可能性を考える良い機会、刺激となった。三者それぞれ描写した場面は異なるが、誰か（患者さんや学生等）のために頑張る自分をイメージした点は共通していた。

総括

ワークショップ 1 日目最初の活動ということもあり、多くの者が緊張していたと思うが、WorldCafé 形式により色々な学生と円滑に交流することができ、皆の緊張が解れたセッションになったと感じた。各ラウンドを通して他大学の特徴や多様な将来像などを共有できたことは、とても刺激になり有意義な時間となった。



Ⅲ A 班－1

第一部では、「私たちの歩み：現在、過去、そして未来」というテーマで World Café 形式で討論を行った。4 名のグループでラウンドごとにメンバーを入れ替え、気付きや感想を模造紙に記録した。各ラウンドの討論について以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第 1 ラウンドでは上記のテーマで各自の思うことを自由に討論した。

学内のトイレが綺麗、ラウンジから見える景色が好き、大学から見える海が絶景、大学の構内が綺麗、など外観や景色の綺麗さについての意見から始まり、各自の大学の好きなところを語った。

後半には外観や景色などの見た目の綺麗さではなく、各大学特有の講義内容についての議論に移っていった。他学部との合同演習や PBL（problem based learning）の授業がある大学の話を聞き、チームを作り主体的に問題解決に取り組むことの大切さや、そのような授業により成長した能力について議論した。他大学の特色を知ることで、より自身の大学の強みや好きなところを確認することが出来た。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

第 2 ラウンドでは大学で学んだことや友人とのコミュニケーションから学んだことなど、以下に示すような様々な意見が出た。また、5 年次の薬局・病院の実務実習で多くのことを学んだという意見は全員が共通しており、実務実習を通して成長したことについて活発に議論を行うことが出来た。全体を通して、実務実習により、自身の将来の薬剤師像や薬剤師としての目標を考えるようになったという意見が多く、実務実習の大切さを再認識することが出来た。

〈大学で学んだこと〉
・定期試験に受かるための、勉強を継続する力や情報力
・疑問を見つけ、その疑問に対する解決法を模索する能力
・学生実習のレポートを書くことで身についた文章力
・定期試験の過去問を集める情報収集能力

〈実務実習で学んだこと〉
・実務実習で他大学の薬学生と知り合うことで、いい刺激になった
・座学の知識を実際の臨床現場で使うことで、知識の結びつけが出来た
・実習を通して自身の将来像を描くようになった
・実際の患者さんとのコミュニケーションの取り方を学ぶことが出来た

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしてみよう」

第 3 ラウンドでは、各々A4 の用紙にテーマに沿った絵を描き発表した。
テーマが 10 年後ということもあり、10 年後自身がどの地位にいるのか、新卒で入社した就職先から転職しているのか否かといった議論も起こった。

それぞれ目標とする道が異なっていたが、全員が共通して患者さんのためにという強い意識を持っているように感じた。

〈10 年後の活躍している場面〉
・病院に就職し、様々な専門の資格を取り患者さんに貢献したい
・薬局薬剤師として、地域医療に貢献しつつ学校薬剤師としても活躍したい
・研究職として新薬開発に努め、たくさんの患者さんに貢献したい
・病院薬剤師として慢性期の病院で地域貢献したい

総括

全国様々な大学から集まった薬学生同士でグループ討議を行うことで、初対面でありながらも、とても活発に意見交換ができた。各々の考え方や、似た価値観・異なる価値観を共有することで良い刺激を受け、自身の考えをさらに深めることが出来る有意義な時間となった。

Ⅲ A 班－2

第一部では「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」というテーマで World Café 形式で討論を行った。テーマごとにメンバーを入れ替えて「ラウンド」を行った。各ラウンドでの討論について以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

・緑がある
・薬草園が学内にあり、地域の人もたくさん訪れる
・都会にある
・総合大学で他学部との交流がある
・大学 OB にノーベル賞受賞者がいる
・熱血な教授がいる

第 1 ラウンドでは、自分の大学の好きなところを語り、上記のような意見が出た。好きなところだけでなく､嫌いなところという意見も出た｡それぞれの大学に強み弱みがあり、学生は自分の大学に誇りをもっていることを感じた。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

・一人暮らしをして
・興味のあることを自分で調べるようになった
・コミュニケーション能力が上がった
・サークルやアルバイト、ボランティアなど経験した
・実習を経て医療従事者だということに対して責任を持った
・薬学の知識が身についた

第 2 ラウンドでは、6 年間で成長したことについて語った。上記のような意見が出て、薬学教育の中で知識や実践については学べるが、コミュニケーション能力を学ぶのは難しい。そういった事は、アルバイトやボランティアなどの学外での活動で身につけられるという意見があった。大学生になり、これまで以上にたくさんの人と接する機会が増えたなかで、様々な人と出会うことがコミュニケーション能力を向上させることに繋がると感じた。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

・キャリアウーマンとして働き、幸せな家庭を築いている
・抗がん剤について詳しい薬剤師として活躍している
・海外で働いている

第 3 ラウンドでは、10 年後の姿について絵を書き、クイズ形式で発表を行った。絵を書くのが難しい。それぞれ卒業後に違った活躍の仕方があり、薬剤師としての働き方の幅が広がれば良いなと感じた。

Ⅲ B 班－1

第一部では､「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」というテーマで World Café 形式で全 3 ラウンド(各ラウンド 20~30 分)の討議を行った。1 グループ 4 名(計 6 グループ)でラウンドごとに小テーマが与えられ、テーマに関する意見を交換し、内容・感想・気付

き等を模造紙に自由に記録した。各ラウンドの討議について以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

・先生と話しやすい。
・学長が学生思い。
・研究熱心
・施設掃除の時間があり、施設がきれい。
・就職活動まで面倒を見てくれる。

このラウンドでは、それぞれの大学の好きなところ、魅力について話し合った。ワークショップ始まってすぐであり皆緊張していたが、大学の先生方とコミュニケーションを取りやすく、就職活動まで助言をいただいたり、施設の清掃時間があり学生も清掃を行い施設がきれいである、といったその大学特有な意見が飛び交った。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

第 2 ラウンドは、まず、第 1 ラウンドで印象に残った内容を各自 1 つ挙げ共有した。その後、上記のテーマで討議した。

・自分の意見をしっかり伝えられるようになった。
・自立できるようになった。一人暮らしや身の回りのことは自分で行える。
・コミュニケーション力が上がった。

学内の実習や実務実習でさまざまな人と話したことがコミュニケーション力を上げたという意見が多かった。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

第 3 ラウンドも、まず、第 2 ラウンドで印象に残った内容を各自 1 つ挙げ共有した。その後、各自の 10 年後の活躍している場面のイメージを絵で表現し、なんの絵かをクイズ形式で見せ合った。絵が得意な人も苦手な人も一生懸命描いた。ラウンド前半は、絵の内容を当てることや絵の説明・内容について討論が行われた。

上記のテーマで、自由に討論を行った。

・患者さんに寄り添える薬剤師
・地域で身近な薬剤師
・薬局の経営をしていて自分の理想の薬局を作る。
・研究者として研究している。

病院薬剤師や薬局薬剤師、研究者と様々な進路が上がったが皆患者さんのためになるようにと考えていて、働く場は違っていても考えは同じであることを認識できた。このラウンドでは自分自身の概念にないような刺激をもらう機会となった。

総括

第一部では、ワークショップの始まりということもあり、多くの人が緊張していたが World Café 形式を用いることですぐに同じ大学の友達同士のように意見を言い合い、意思の疎通が図れた。他大学の学生と討論することで新たな価値観や薬学生としての考え方を学ぶことができ、視野を広げることができた。全国の薬学生と交流することで、自分に足りないものは何なのかを見直す良い機会となった。

Ⅲ B 班－2

第一部では、「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」というテーマについて、world cafe 形式で全 3 ラウンドの討論を行った。4 名 1 グループで、各ラウンド毎にメンバーを入れ替えて「おしゃべり」を行い、感想や気づきを「落書き」として模造紙に書き残した。各ラウンドの討論について以下にまとめる。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

・校舎がキレイ
・自動車通学が可能であるため融通が利く
・立地条件がよく交通の便がよい
・先生との距離が近い
・国家試験対策が手厚い
・付属病院がある

自己紹介を兼ねてテーマについて討論を行い、第一部では上記のような意見が挙げられた。初めは緊張と不安を抱く学生が多かったが、会話が進むにつれて笑顔が増えていった。大学の良い面だけでなく、不満な点についておしゃべりする方が会話が弾んだ。国立大学と私立大学ではカリキュラムに相違があるという認識は皆あったが、私立大学でも多くの相違点があることには驚いていた。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

・イベントスタッフのアルバイトを通して、臨機応変に対応できるようになった
・塾講師のアルバイトを経験して、傾聴力、説明力などのコミュニケーション能力が向上した
・ひとり暮らしを始めて生活能力が向上した
・卒業研究を通して、ピペッティングの技術を習得した

第二部では上記のような意見が挙げられた。大学内で学んだことよりも、アルバイトの経験から将来に活かせる能力を身につけたという意見が多く挙げられた。生物系の研究室に所属している学生が集まり、共有できる部分が多く会話が盛り上がった。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

・指導薬剤師として、薬学生の育成に携わりたい
・服薬指導を頑張りたい
・学校薬剤師として、生徒の健康に携わりたい

第三部では上記のテーマを絵で示して、クイズ形式で他のメンバーに答えてもらってから議論した。メンバー全員が薬局志望であったが、3 人ともに将来像が異なったため、多方向からの意見を聞くことができた。

アイスブレイクを兼ねた討論であり、初対面の方と話せるのかと不安を感じていた学生が多かったが、ラウンドが進むにつれて「時間が短い」と感じるほどおしゃべりできるようになっていた。気軽に話せるような交流を深めることができ、2 日間をともに過ごすための有意義な時間となった。他大学の学生の価値観を聞いて自分にはない考えを知ることができた。発言者ひとりひとりがしっかりとした意見をもち、また、聞き手側は発言者が話しやすいような雰囲気作りに努めていたように感じた。

Ⅲ C 班－1

第一部では「私たちの歩み:過去、現在、そして未来」という題目で World café という形でワークショップ参加者との交流を兼ねた討議を行った。全 3 ラウンドに分かれ、各テーマで個々人が思ったことや感じたことを絵や文字という形で模造紙に自由記載を行った。各ラウンドの内容を以下に記載した。

＜第 1 ラウンド＞「私の大学のここが好き」

第 1 ラウンドでは上記のテーマで 20 分程度の討議を行い、その中で以下の意見が挙げられた。

・学食が安い上に、メニューが豊富
・大学の所在地が長井長義の出身地である
・自然が豊かな中で勉強ができる

この討論は今回のワークショップの最初の討議であったにも関わらず、自己紹介等もかねて活発な意見交換ができたと感じている。最も意見が多く挙げられたのは学食のことであった。各大学によって異なるが、ある大学では安くて味がいい上にメニューの組み合わせがいくつも選べるという学食もあるとのことであった。薬学部は勉強ばかりとは言うが、今回の討論では学生生活を楽しんでおり、そのおかげで大学が好きという意見が多かった。

＜第 2 ラウンド＞「6 年間で成長したことについて自由に話してみよう」

第 2 ラウンドでは上記のテーマで第 1 ラウンドと同様の 20 分程度の討議を行った。以下に挙げられた意見を記した。

・高校生ではできない様な研究の話ができるようになった
・家事能力が身についた
・研究とは何かということがわかるようになった

このように 6 年間で成長したこととして、私たちの班では研究面で成長したことが挙げられた。また卒業研究の話が挙げられ、ホジキンリンパ腫の細胞のマーカーの研究、心筋梗塞によって発現が上昇する分子の研究、AI を用いたデータサイエンス、転写因子の研究といった話が挙がり、薬学という話題で非常に活発な意見交換が行われたと感じた。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

第 3 ラウンドでは上記のテーマで 30 分程度の討議を行った。討議の始め 5 分程度は 10 年後の活躍しているイメージを絵に描いて、その後のグループでの討議に用いた。以下に絵で描かれた内容を箇条書きで記載した。

・在宅医療のスペシャリストになり、薬剤師の認知度を上げる
・調剤も研究も教育もできる薬剤師になる
・指導薬剤師となり後輩を教育していく
・病院薬剤師となり健康寿命を延ばせるように活動していく

このように非常に多種多様な薬剤師像が描かれた。各人で共通していたのは薬剤師という存在の認知度を上げていきたいということが挙げられたが、自分の将来像を描いた際に同じような絵がなかったことから様々な価値観があることを実感した。自分の将来の事なので様々な角度からの薬剤師を見ることができ充実した討議であったと思う。

総括

本セッションは第9回全国学生ワークショップの最初のセッションということで、私も含め参加者全員が緊張していたと思うが討議を重ねていく中で徐々に緊張が打ち解けていき、活発な意見交換ができたと実感している。本セッションではワークショップを共に過ごす各人の背景や現状を知ることができ、親睦を深めるという観点からも充実したセッションであったと考えられた。

Ⅲ C 班－2

＜第1ラウンド＞「私の大学のここが好き」

・学費が高くないところ（国公立大学）
・先生が優しい
・再試験が無料
・好きなだけ研究できるところ
・自由なところ
・ヤマトミュージアムに無料で入場できるところ
・卒業論文が早く終わる（5月）
・風景が綺麗
・ハウステンボスに無料で入場できるところ
・特待生制度がある
・先生との距離が近い
・自分の家から近いところにあるところ
・看護学部と連携した授業がある
・先生が優しい、親身になって教えてくれる
・国家試験対策が充実している
・人体解剖見学がある
・学食がおいしい
・事務の人が優しい
・緑が多いところ
・学食の種類が多いところ

第1ラウンドでは上記のような意見が出た。最も多かった意見は、「先生が優しい」という教育面に関する意見であった。一方で、大学独自の他施設と連携した特典を好んでいるという意見も多かった。

＜第2ラウンド＞「6年間で成長したことについて自由に話してみよう」

・一人暮らしをしたことで、家事などができるようになった
・実習先でメンタルが強くなった
・コミュニケーション能力が向上した
・研究室に入ったことでメンタルが強くなった
・一人暮らしだったから、掃除、家事、自炊などの生活能力が身についた
・無菌操作が上手くなった
・いろんな人間との接し方を学び、成長した
・メンタルが強くなった

第2ラウンドでは上記のような意見が出た。実習先や研究室を通して成長を感じている

という意見が多く、特にメンタル面での成長が学生の皆に共通する意見であった。また、一人暮らしをしている学生は、生活面での成長を挙げていた。第 1 ラウンドの時と比べると、オリジナリティ溢れる意見は少なかった。

＜第 3 ラウンド＞「10 年後の活躍している場面をイメージしよう」

第 3 ラウンドでは、上記のテーマについて各々のイメージを絵で表現した。描いた絵から討論者が表現したい内容を読み取り正解を当てるというゲーム感覚で交流した。絵の内容は、学生個人の就職先に関係するものが多く、ドラッグストアでの勤務から本社へのキャリアアップを目指す絵、研究者としてより良い医薬品を患者に提供する絵、病院にて患者と近い距離で接する絵、自分で開局した薬局に多くの患者が来局する絵などが描かれていた。また、結婚願望などのプライベートな夢についての討論も行なった。

総括

第一部のセッションであったためか、序盤は盛り上がりに欠けたが、徐々に打ち解けていくことができた。また、参加した学生の育った環境、価値観の違いにより様々な意見を聞くことで、各々が刺激を感じているように思えた。